

お知らせ

INFORMATION

No.2014-09

2014年3月

病体生理研究所

検査内容の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記項目につきまして、検査内容の変更をさせていただきます。

何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【検査内容の変更について】

◆ 骨塩定量 (DIP 法) [11640]

《変更日》2014年3月31日(月) 受付分より

※ この度の変更に伴い、報告書記載内容の変更を実施させていただきます。

【骨塩定量（DIP 法）における男性基準値変更】

「原発性骨粗鬆症の診断基準(2012 年度改定版)」に準拠し、骨塩定量（DIP 法）の男性基準値および報告書の記載内容を変更させていただきます。

検査項目〔コード〕 検査案内 P	変更箇所	新	旧	備考
骨塩定量（DIP 法） 〔11640〕 P.13	基準値	男性 YAM 値： 2.984 女性 YAM 値： 2.864	男性 YAM 値： 2.907 女性 YAM 値： 2.864 (参考値)	*基準値の見直し 「原発性骨粗鬆症の診断基準(2012 年度改定版)」に準拠 *専用報告書の変更のみ

YAM:若年成人平均値（20～44 歳）

これまででは、20～44 歳までの YAM 値データがなく、「原発性骨粗鬆症の診断基準(1996 年度改定版)」に記載された 20～24 歳の平均骨密度を YAM と仮定し、YAM 値およびその 80%値、70%値を参考値として報告。

男性	YAM 値	YAM 80%値	YAM 70%値
新	2.984	2.387	2.089
旧	2.907	2.326	2.035

新基準値：「原発性骨粗鬆症の診断基準(2012 年度改定版)」より引用

【骨塩定量（DIP 法）の報告書の改定内容】

〔現行報告書 表面〕

〔今回測定値欄〕
男性基準値のプロット範囲を変更します。

〔原発性骨粗鬆症診断基準欄〕
新判定基準を記載します。
〈「原発性骨粗鬆症の診断基準(2012 年度改定版)」〉
I.脆弱性骨折あり
1.椎体骨折、または大腿骨近位部骨折あり
2.その他の脆弱性骨折があり、骨密度が YAM の 80%未満
II.脆弱性骨折なし
骨密度が YAM の 70%以下または $-2.5SD$ 以下

〔男性 YAM 値欄〕
男性 YAM 値
2.984 に変更します。

以上